

日立電線スイッチングハブ

ApresiaLightFM シリーズ

Ver. 1.07.01

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2012年10月26日	新規制定

# Ver. 1.07.01 リリース情報(2012年10月)

## 機能修正について

このバージョンでは、以下の修正をしております。

### 修正

#### APLFM-10701-RC001

現象 LAG 機能において、LAG を構成する最若番ポートがメンバーポートで動作する場合(代表ポートのリンクダウンなど)、EAP フレームが受信したポートに一時的にフラディングされる問題を修正しました。

関連 -

#### APLFM-10701-RC002

現象 802.1x 認証による認証前のポートにおいて、DHCP パケットを透過する問題を修正しました。

関連 -

#### APLFM-10701-RC003

現象 WEB-UI における PoE System 情報が誤表示される問題を修正しました。

関連 -

#### APLFM-10701-RC004

現象 SSH 接続において、存在しないチャンネルクローズメッセージを受信した際、正しく破棄されない問題を修正しました。

関連 -

#### APLFM-10701-RC005

現象 "show utilization notify" コマンドにおける、ヘルプメッセージの誤表示を修正しました。

関連 -

#### APLFM-10700-RC031

- 現象 コンポポート (copper) において、port state disable 状態にも関わらず、cable\_diag を実行するとポートがリンクアップする問題を修正しました。
- 関連 APLFM-10700-ER031

#### APLFM-10700-RC032

- 現象 宛先 MAC アドレス : 0180c2:000011 ~ 0180c2:00002f の予約済マルチキャストフレームにおいて、VLAN の影響を受けずに中継する問題を修正しました。
- 関連 APLFM-10700-ER032

#### APLFM-10700-RC033

- 現象 Telnet 接続された装置において、“show tech” など多くの情報を収集するコマンドを実行した場合、一部の情報が取得できない問題を修正しました。
- 関連 APLFM-10700-ER033

### 既知の問題について

このバージョンでは、以下の既知の問題があります。

#### 既知問題

#### APLFM-10700-ER030

- 現象 APLFM-10700-RC008 において、PoE 装置の最大給電値を超過時に Syslog が出力されない場合があります。
- 回避策 -

#### APLFM-10500-ER001

- 現象 10M-half で設定されたポート間をループ接続した場合、フラッピングをしないことがあります。(その結果、ループ接続状態にありながら、ループが発生していないように見えます)
- 回避策 -

#### APLFM-10300-ER001

- 現象 本装置の起動途中に本装置と接続先装置のポートが一時的にリンクアップ・ダウンします。ログにリンクアップ・ダウンの記録が残ります。
- 回避策 -

Apresia は、日立電線(株)の登録商標です。

バージョン	対象機器
1.00.00	ApresiaLightFM124GT-SS
1.01.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS
1.03.00 1.04.00 1.05.00 1.06.00 1.07.00 1.07.01	ApresiaLightFM124GT-SS ApresiaLightFM108GT-SS ApresiaLightFM116GT-SS ApresiaLightFM108GT-PoE ApresiaLightFM116GT-PoE